

-臨床研究へのご協力のお願い-

本院消化器外科では、下記の臨床研究を香川大学医学部倫理委員会の審査を受け、医学部長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。この研究は、東京医科大学茨城医療センターを主幹機関とする多施設共同研究として行います。

[研究課題名]

残脾癌における先行脾癌との分子病理学的および臨床病理学的検討

[研究の背景と目的]

近年、残脾癌が脾癌の予後改善によって増加してきています。しかし、残脾癌は発見時進行癌のことが多く、非切除になることも多いが、切除できればさらなる予後の改善が見込まれます。本研究では残脾再発を来した脾癌で切除した標本を分子病理学的、臨床病理学的に解析し、その特徴を明らかにすることで脾癌切除時の残脾再発のリスクアセスメントが可能となるような情報を得ることを目的とします。

[研究の方法]

・対象となる方

2001年から2017年までに香川大学医学部附属病院にて残脾癌として切除した患者さん。

・研究期間

倫理審査承認日から2022年3月31日

・利用する検体や情報

年齢、性別、臨床生理学的検査所見、手術前後治療内容、臨床病理学的所見、切除標本再検査(遺伝子パネル解析、免疫染色) 予後期間

・検体や情報の管理

香川大学医学部倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで日本臓器移植学会事務局及び東京医科大学茨城医療センターの研究責任者へ提供します。また、検体検査解析は東北大学病理形態学教室で行います。

・遺伝子解析情報の開示

今回の研究対象となる遺伝子情報は病気や健康状態等を評価する上での精度や確実性が十分でなく、お知らせすることによりあなたや血縁者に精神的負担を与えたり誤解を招くおそれがあるため、結果はお知らせしません。その一方で、研究の過程において当初は想定してい

[情報の送付先]

日本膵臓学会 本部学術事務局
〒573-1010 大阪府枚方市新町 2-5-1
関西医科大学内科学第三講座内
tel:072-804-2180 fax:072-804-2182

[問い合わせ先]

研究責任者：東京医科大学茨城医療センター 消化器外科 鈴木 修司
研究内容の問い合わせ担当者：東京医科大学茨城医療センター 消化器外科 大城 幸雄
電話：029-887-1161（応対可能時間：平日 9 時～16 時）

本学での研究責任者：香川大学医学部附属病院 消化器外科 岡野 圭一
本学での問合せ担当者：香川大学医学部附属病院 消化器外科 安藤 恭久
電話：087-891-2438（応対可能時間：平日 9 時～16 時）